



# 第1回親子会議報告

平成30年5月31日  
小美玉市立堅倉小学校

第1回親子会議では、「我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」というテーマで話し合っ  
て三行詩を書いていただきました。ご多用の中でのご協力に、感謝申し上げます。

まずは会議に名前をつけましょうということで、親子会議にたくさんのすてきな名前がつけま  
した。「仲良し親子会議」「〇〇家の本気会議」「笑顔大好き会議」等々同じ名前はほとんどなく、  
1年生は56人で47種類もの名前をつけていただきました。ありがとうございました。

三行詩を考えることは低学年のお子さんには少し難しかったかもしれませんが、一人一人がみ  
んな大切な家族の一員であることを再認識していただけたように感じました。親子会議シートの一  
部を紹介いたします。

- <1年>・おとうさんとおかあさんは、いつもぼくのことをほめてくれる。だからまいにちが  
とてもしあわせ。おおきくなったらおとうさんみたいなひとになりたいな。  
・ままのえがおは ぼくのげんきのもと。ままがかなしいと ぼくもかなしい。  
いつもえがおでいてほしいから、おてつだいをがんばろう！  
・いまはまだおしえてもらってばかりだけど すぐにおいつくぞ おにいちゃんに。  
・げんきにあいさつをする じぶんがされていやなことはしない  
おはなしをよくきく かぞくとすごすじかんをたいせつにする  
・ばんごはん テレビはけしてみんなではなそう かぞくだんらん すてきなじかん  
・おはようのあいさつひとつでえがおになれるね  
「ただいま」までまってね。 おばあちゃん

- <2年>・人にやさしく、うそはつかない。それが わがやのルール  
・はずかしくてもちゃんといおう。かんしゃのきもち「ありがとう」はえがおになれる  
まほうのことば。  
・おこるとふえる ママのつの。 わらうときえる ママのつの  
えがおのまほうで おにたいじ  
・できることは自分でやる。できないことはかぞくがたすけてくれる。  
かぞくがいることで たくさんできることがふえる。 かぞくってだいじ。  
・ぼくが元気がないとお母さんのぎゅう。お母さんが元気がないと、ぼくがぎゅうして  
あげる。ぎゅうのパワーはすごいんだぞ。

- <3年>・怒られて泣いていたけれど、お母さんの「ごはんだよ」の一言でぼくの泣き顔終わりの  
合図。  
・いやなことの中に楽しさを見つけてやる。  
・けんか相手の弟 いつもじゃまする妹 それでも弟妹が大好きだ  
・楽しいことは家ぞくがいっしょだと100倍に、つらいことは100分の1になる。  
・ねる前のハイタッチ 明日へのげん動力  
・自分のことは、自分自身でまもれ 自分の命はどこにもうってないぞ  
・一日のはじまり「おはよう」えがお けんかをして「ごめんね」えがお  
明日にむかって「おやすみ」えがお  
・おばあちゃんがころんだ。 ほねにひびがはいって歩けない。  
ぼくのかたが、おばあちゃんの足になる。

<4年>・家族がふえると、幸せもふえて 笑う数もふえました。

・わたしのたん生日

おとうさんとおかあさんが、おとうさんとおかあさんになった記念日

・車の音。わたしにはわかるんだ。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、だれのかね。

・自分ができることは何か？ 親にいつも言われていることは？

言われなくてもやってやるから 今に見てろよー！！

・楽しいこと 悲しいこと うれしいこと わくわくすること いやなこと  
全部おうちの人が聞いてくれる

<5年>・ママはおこるとうるさくて、パパはおこるとこわいけど

最後は分かってくれる父と母

・「おはよう」と元気な声で 家族の健康チェック

・悲しい時、辛い時、お母さんは「大丈夫、大丈夫。大丈夫、大丈夫。」と言いながら「グュー」をしてくれる。安心するおまじない。

・やらないでできないと言わない。何でもちょうせんする。(わが家のルール)

うれしいことも悲しいことも家族で分け合う。(家族のきずな)

・朝、おはようのあいさつ。でも私たちのあいさつは「早く起きろ」

ママ、これからはきちんと起きるから、そばでみてて

・一年生になった妹。学校のことも勉強もなんでも教えてあげる。

ぼくは妹の先生だから。

<6年>・行ってきます いってらっしゃい ただいま おかえり

ぼくとお母さんとの笑顔タイム

・必ず家族がそろってから 今日も一日おつかれさまのかんぱいをして  
夕飯が始まります

・㊦あいさつを必ずしよう

㊧のちを大切にしよう

㊨んどうをしよう

㊩顔で元気に過ごそう

㊪返事をきちんとしよう

・父母がいるから僕がいる

祖父母がいたから父母がいる

脈々と続く命のバトンが今、僕につながった。

・自分でできることは少ないけれど 家族みんなでなら なんでもできる気がするよ

